

みんなでみつけよう

あじたの豊島

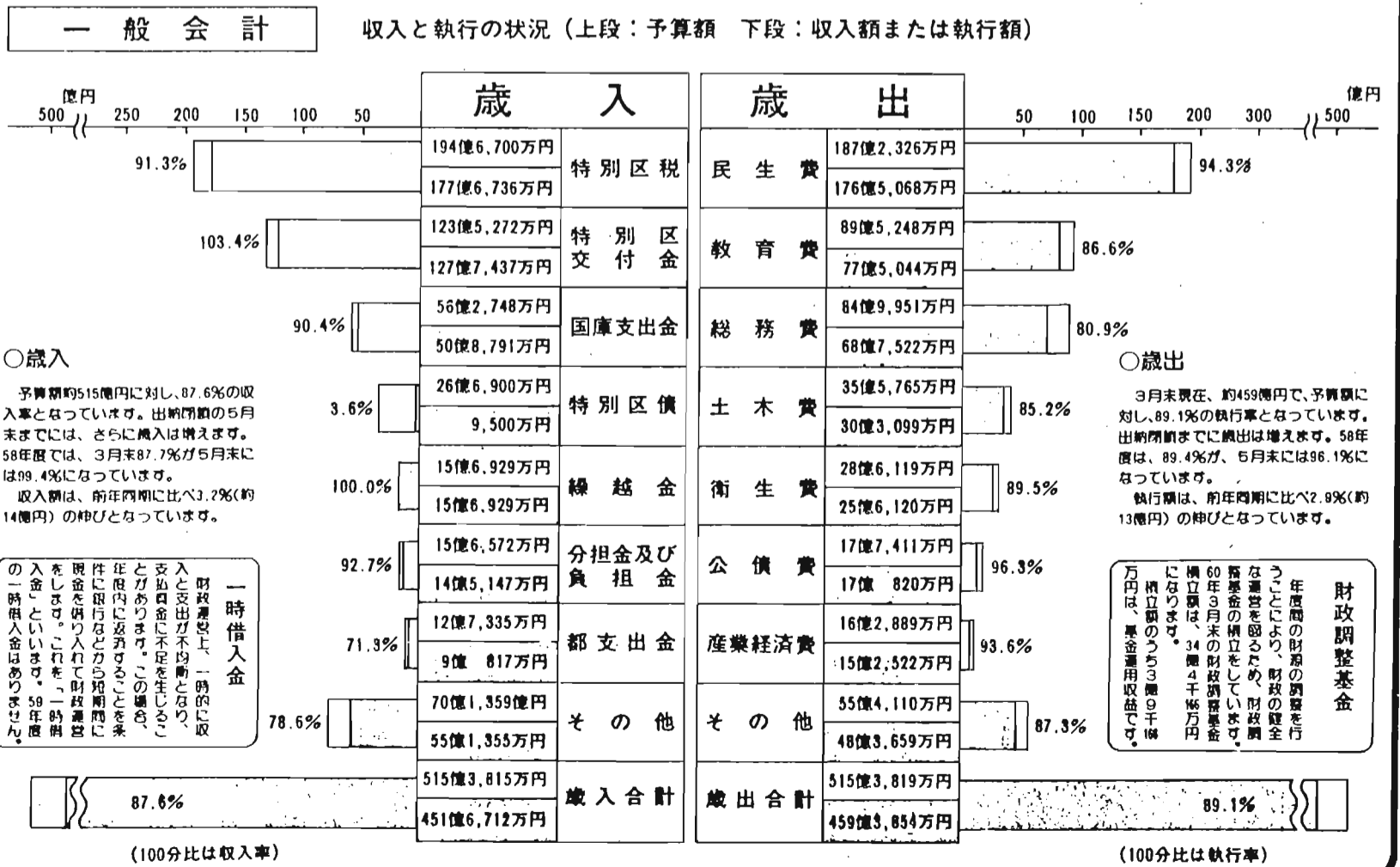


マスのつかみどり 豊島区・秩父市両スポーツ少年団172名が交流。6月16日(日)、秩父・横瀬川で

区では、区民の皆さんに納めていただく特別区税のほか、特別区交付金や、国・都の支出金、特別区債などの財源を使って、区民福祉の向上のため、いろいろな事業を行っています。

法」と、東京都豊島区財政状況の公表に関する条例」に基づいて、毎年2回(6月と12月)行うものです。今回は、昭和59年度予算の執行状況(60年3月末現在)と昭和60年度予算の概要について、お知らせします。

昭和59年度一般会計予算の執行状況(60年3月末現在)



60年度予算のあらまし

編成方針

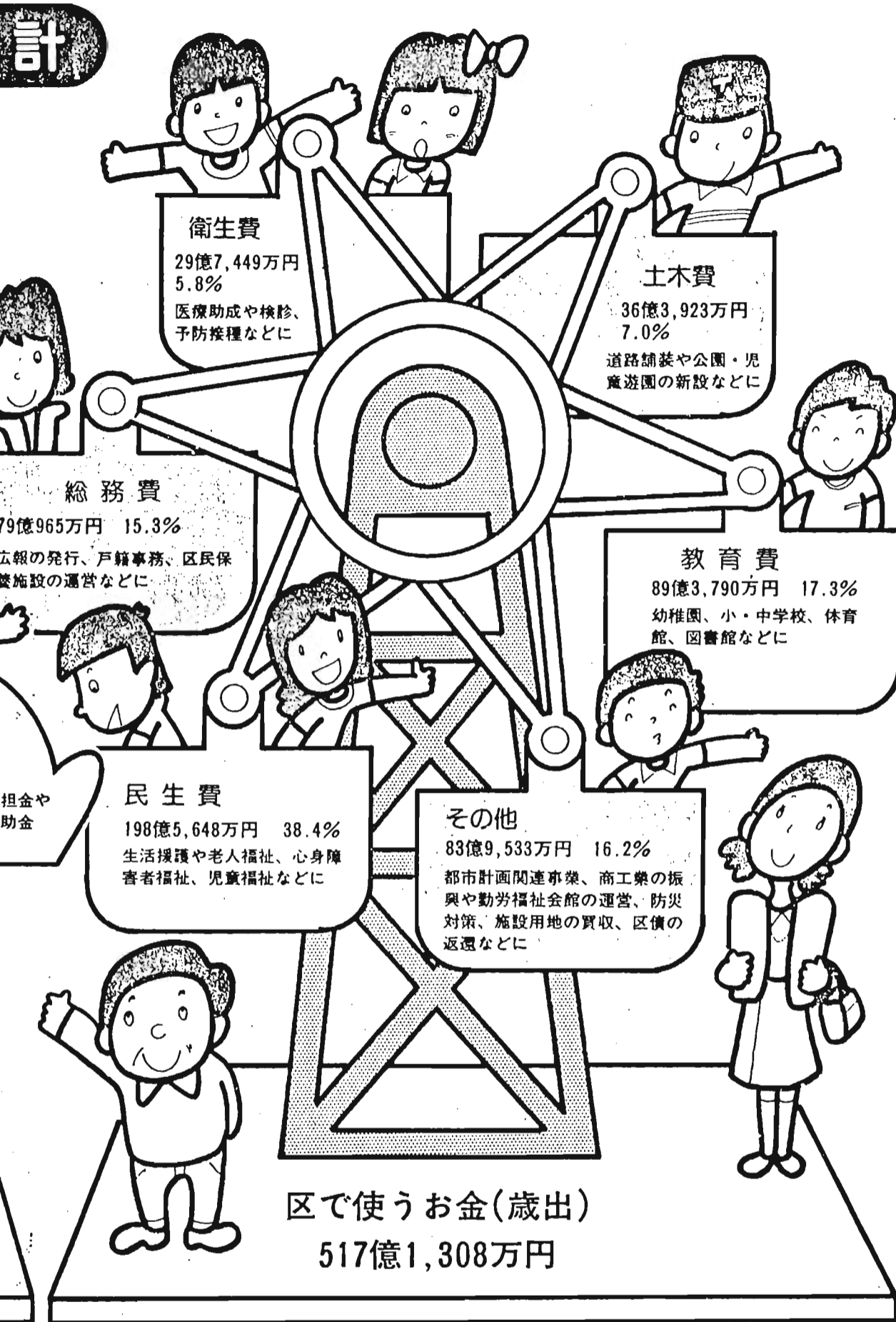
昭和60年度の予算編成にあたり、区政をとりまく内外の財政状況を見ると、同年度の政府経費見通しは、昭和59年度より低下するもの、名目で6・1パーセント程度、実質で4・6パーセント程度の中成長を維持してゆくものと予測されています。しかし、60年度の国の予算は、国債の発行残高が昭和60年度末には、約13兆円に達するという危惧的な財政状況に処するに、国債費、地方交付税を除いたいわゆる一般歳出は、前年度に比べて3億円の3年連続マインাসという超緊縮型予算とな

っています。一方、地方自治体の財政運営の指針である昭和60年度の地方財政計画では、地方税の大幅な伸びを背景として、対前年度比4・6パーセント増と前年度の1・7パーセントに比べ好転するものと計画されています。このような内外の経済状況と昭和60年度都府政調整方針と

を十分考慮しつつ、中長期的展望に立って昭和60年度の子算編成に臨みました。本区における区政運営の基本は、「みんなてきすく生活文化都市」を旨とした島島基本構想および基本計画を的確に推進していくことにあります。この目的を達成するために、昭和59年2月に第2次実施計画(昭和59年度から61年度)を策定しましたが、その後の社会経済の変化に対応して、実現性、緊急性、重要性さらには、誘導性等の観点から改めて検討を加え、計画目標の設定が可能で、計画的に推進する必要がある新たな事業

についても、あわせて検討対象に加え、いわゆるローリング方式により、第3次実施計画を策定しました。その内容は、計画期間が昭和60年度から62年度までの3か年であり、その事業数は58、総額は約22億3千万円となっています。このうち、昭和60年度の計画事業数は51、総額は約75億8千万円となっています。昭和60年度の子算編成にあたりましては、これを完全に予算化し、積極的に区民福祉の向上と計画的行政の推進に努めました。

1月1日現在の住民基本台帳による人口により算出



1人当たりの予算額

189,755円

59年度は177,111円

1月1日現在の住民基本台帳による人口により算出

予算1,000円はどのように使われていますか

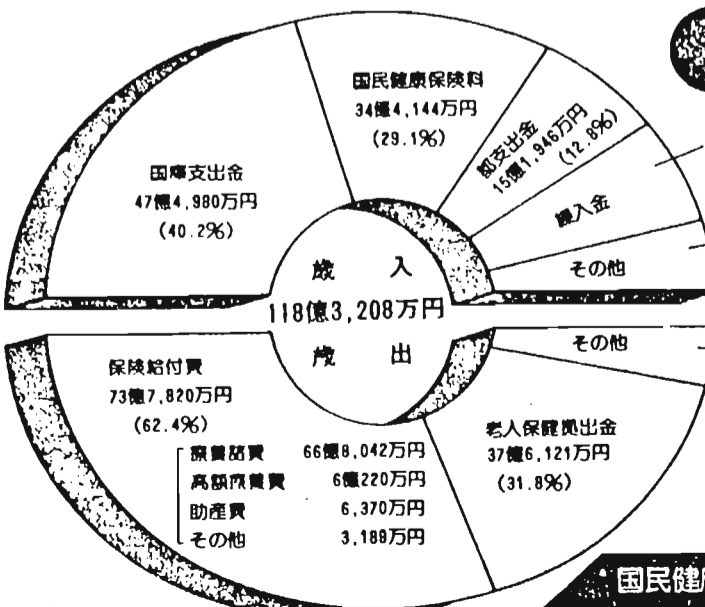
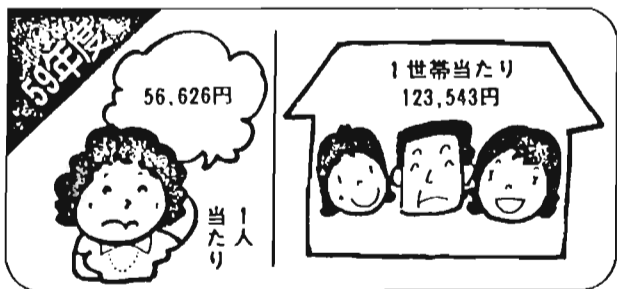
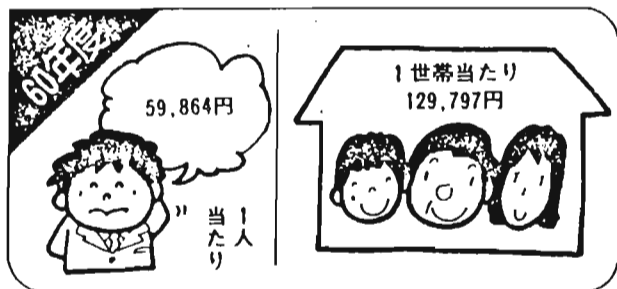
用地の取得、都市計画関連事業などに 150円	保育園、児童館、婦人青少年に 131円	小学校、中学校、幼稚園に 130円	老人福祉、心身障害者福祉などに 123円	生活保護に 96円	国民年金や戸籍事務、出張所などに 93円	公害補償、保健衛生に 57円	道路、街路灯などに 48円	社会教育、図書館、スポーツに 43円	区債の返還に 34円
商工業の振興、勤労者福祉に 29円	公園、児童遊園、公衆便所に 13円	税を集めるのに 12円	区議会に 12円	建築指導などに 9円	区民センター、公会堂、区民保養所に 7円	統計調査、選挙、監査に 6円	防災・公害対策、緑化・自転車対策などに 5円	財政調整基金の積立に 1円	予備費に 1円

年度当初予算の比較

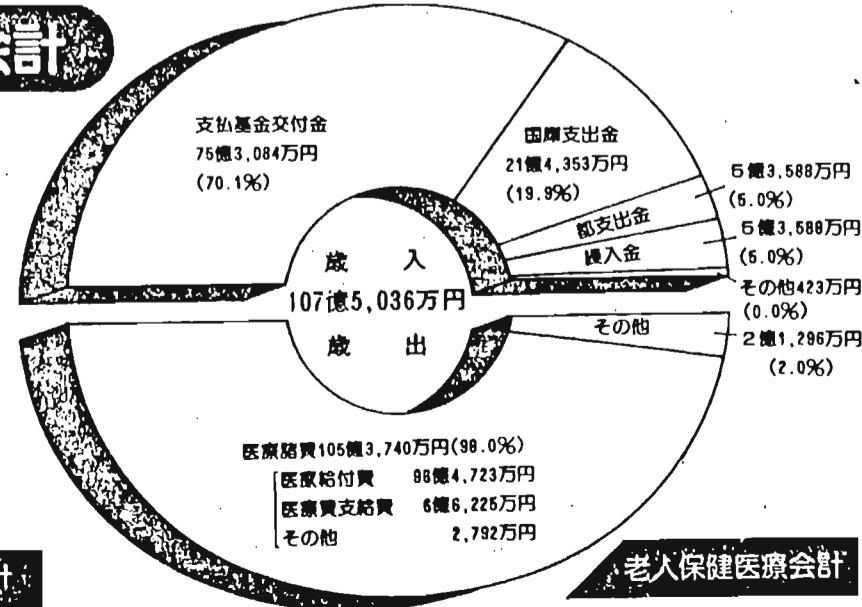
会計	58年度(A)	59年度(B) ()内は増率 B/A	60年度(C) ()内は増率 C/B
一般会計	474億6,292万円	482億2,472万円 (+1.6%)	517億1,308万円 (+7.2%)
人件費	160億6,486万円	165億7,853万円 (+3.2%)	174億9,866万円 (+5.6%)
物件費	94億80万円	96億2,325万円 (+2.4%)	101億629万円 (+5.0%)
扶助費	85億7,941万円	88億675万円 (+2.6%)	90億4,537万円 (+2.7%)
投資的経費	66億7,010万円	57億8,099万円 (-13.3%)	70億8,826万円 (+22.6%)
公債費	17億5,111万円	16億5,502万円 (-5.5%)	17億1,924万円 (+3.9%)
その他	49億9,664万円	57億8,018万円 (+15.7%)	62億5,526万円 (+8.2%)
国民健康保険事業会計	110億9,798万円	115億5,428万円 (+4.1%)	118億3,208万円 (+2.4%)
老人保健医療会計	89億6,795万円	92億2,221万円 (+2.8%)	107億5,036万円 (+16.6%)
計	675億2,885万円	690億121万円 (+2.2%)	742億9,552万円 (+7.7%)

区民税の負担状況

1月1日現在の住民基本台帳による世帯と人口により算出



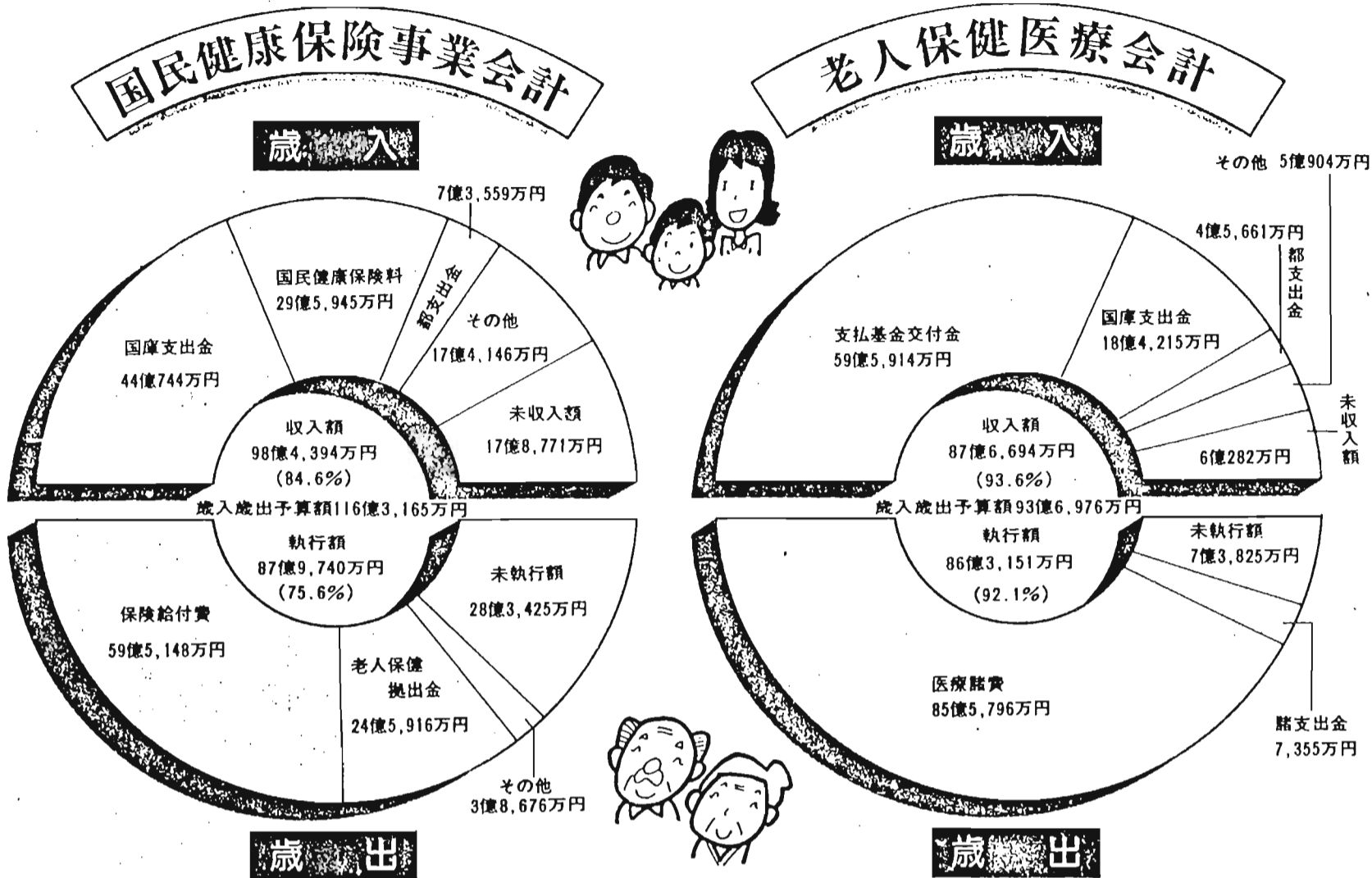
特別会計



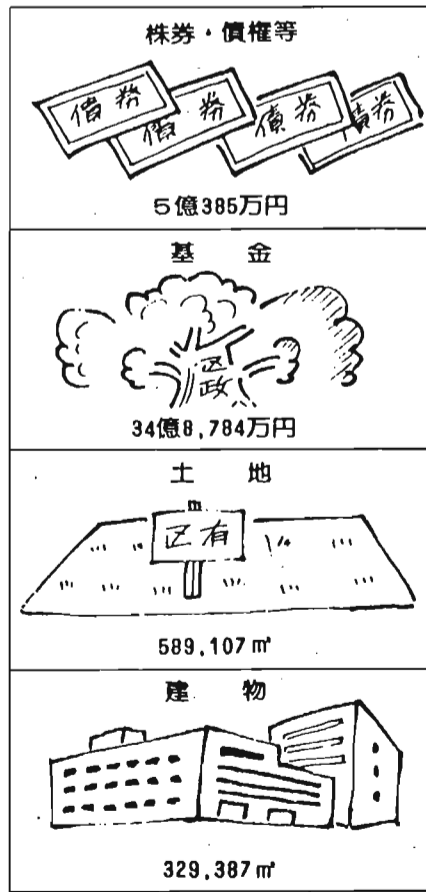
老人保健医療会計

昭和59年度特別会計予算の執行状況

(60年3月末現在)



区有財産の状況 (60.3.31現在)



区の財政状況について、詳しく知りたいことや、疑問の点がありましたら、財政課財政係☎2121へ、おたずねください。



今年5月に開館した千早児童館

特別区債の状況

(60.3.31現在)

各種厚生施設や、学校、図書館、公園などの大規模な施設を建設するには、一時的に多額の財源を必要とします。これらの経費は、本来、当該年度の歳入でまかなうべきです。しかし、これらの施設は、永続的に区民の利用に供されることから、将来の区民にも負担を求めることが公平であること、また、当該年度の通常の財源でまかなうことが困難であることなどを考慮して、国などから長期にわたって資金を借り入れていきます。これを特別区債とします。

発行目的	現在高	借入先			
		政 府	東 京 都	公 庫	銀 行
出張所・区民集会所建設	9,101万円		9,101万円		
保育所・児童館・老人いこい室、身障者施設の建設など	23億7,164万円	15億2,679万円			8億4,485万円
保健所建設	5,266万円	5,266万円			
勤労福祉会館建設	9億3,800万円	9,800万円	2億1,200万円		6億2,800万円
貯水槽・備蓄倉庫建設	1,472万円		1,472万円		
道路改良・公園用地買収など	32億4,478万円	3,300万円		7億1,782万円	24億9,396万円
校舎・社会教育施設建設、学校用地買収	27億1,528万円	8億9,447万円			18億2,081万円
住環境整備用地買収	9,500万円		9,500万円		
計	95億2,409万円	26億492万円	4億1,273万円	7億1,782万円	57億8,862万円